

陸奥湾におけるサケ・マスふ化 場建設等に係る基礎調査

(要 約)

横山 勝幸

はじめに

この調査は、日本原子力船研究開発事業団が本州鮭鱒増殖振興会へ委託し、県が指導、協力して実施したものである。調査の内容は、(1)ふ化用水源調査、(2)親魚の回帰調査、(3)海中飼育に関する調査の3つで、このうち当所魚類部が担当した(2)と(3)について、その概要を記す。

なお、詳細は別途報告される予定である。

1 親魚の回帰調査

調査方法

陸奥湾口の定置網に入網したシロサケ親魚に標識票を付けて放流し、再捕状況を調査した。

調査指導者：横山勝幸・菅野溥記^{*}・加藤徳雄^{**}

調査協力者：小倉大二郎^{***}・工藤敏博^{***}・福田慎作^{***}・浅加信雄^{***}・塩垣優^{***}・川村幸一^{***}・高梨勝美^{***}

調査結果

表1及び図1に示した。

2 海中飼育に関する調査

既存資料を収集し、陸奥湾における海中飼育の現状と課題を整理、解析した。

調査指導者：小倉大二郎

表1 放流及び再捕状況（昭和58年3月1日現在）

放流場所	担当漁協	放流数 (尾)	放流時期 (月日)	再捕数（河川内再捕）				河川再捕場所
				日本海	陸奥湾	その他	合計	
A 三厩	竜飛	41	12.21~25	1 (1)	4 (1)	1 (0)	6 (2)	十三湖, 川内川
B 今別	今別東部	8	12.22 1.3	0	0	0	0	
C 平館	平館	37	12.19~29	0	1 (0)	3 (1)	4 (1)	岩手県津軽石川
D 佐井	佐井	27	12.22	0	1 (0)	2 (0)	3 (0)	
E 牛滝	〃	40	12.22	1 (0)	5 (1)	4 (1)	10 (2)	蟹田川 北海道大船川
F 脇野沢	脇野沢	42	12.17	0	5 (1)	11 (1)	16 (2)	北海道及部川
計		195	—	2	16	22	40	

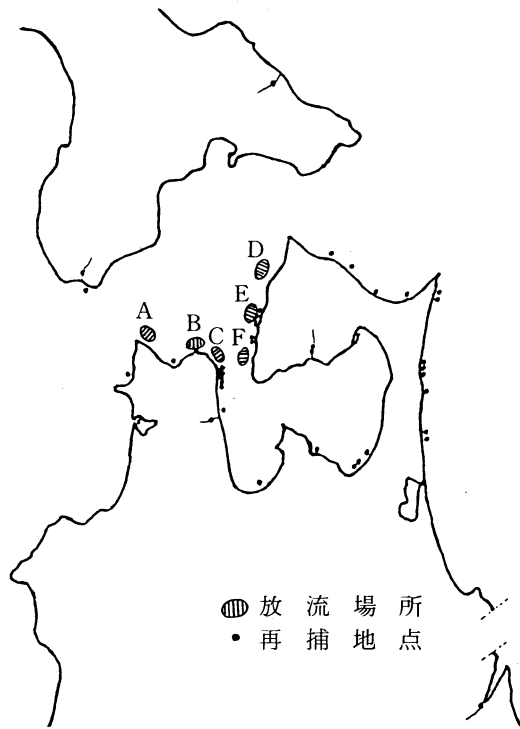


図1 放流場所及び再捕地点